

JHF 教員・助教員 教習実技検定 採点表 (HG)

下記A群・B群より各1問ずつ選択し、1問10分程度で講義を行う。

平均点3.5以上で合格とし、1つでも1点があれば不合格となる

講習実技 A群		①	②	③	④
1	ランディングでの同時進入を避ける行動				
2	ポーラーカーブの説明と、フライト中の状況に応じた活用方法				
3	ハンググライダー公認大会の競技種目及びその内容について				
4	エアールールについての説明				
5	失速の定義と起こりうる状況、回復方法				
6	上昇気流の発生とメカニズム、フライトにおける影響				
7	局地風の種類とその説明				
8	気温減率の説明とフライトに及ぼす影響				
9	レスキューパラシュートの使用時の説明とメンテナンスについて				
10	運用限界プラカードに書かれている主な項目とその説明				
講習実技 B群		①	②	③	④
1	初高高度フライトの講習生に対する事前説明				
2	ホールドが安定しない人へのアドバイス				
3	強い上昇気流から回避する方法と注意点				
4	強風時、テイクオフからランディングまで、気を付けること				
5	プレフライトチェックを教える際の注意点				
6	バテンチャートを使った機体のメンテナンスと調整について				
7	テイクオフで迎え角が安定しない人へのアドバイス				
8	フレアーが上手くかからない人へのアドバイス				
9	機体の安定性にかかわるパーツの機能と調整箇所について				
10	自分の経験上、講習生の起こしがちな失敗例とその対処法について				

5点	教員として素晴らしい
4点	すこし問題はあるが教員として相応しいものであった
3点	やや改善が必要であり、助教員レベルである
2点	対応に問題があり教員としては不適切なものであった
1点	指導するに相応しくないものであった。

評価項目(5段階評価)
①内容を正しく理解しているか
②説明は明確か
③話し方(早さ、声量、視線)
④質問に対して明確な回答か

JHF 教員・助教員 教習実技検定 採点のポイント (HG)

	講習実技 A群	採点のポイント
1	ランディングでの同時進入を避ける行動	降りるか待つかの判断、先に降ろす場合の飛び方、待つ場合の飛び方、山飛経験の少ない練習生のアドバイス、TOディレクタとしての判断、粘り過ぎない、他
2	ポーラーカーブの説明と、フライト中の状況に応じた活用方法	水平速度と沈下速度の図解、最良滑空速度、最小沈下速度、翼面荷重の影響、風向風速に合わせた速度の使い分け、他
3	ハンググライダー公認大会の競技種目及びその内容について	クロスカントリー競技、フライトコンテスト、JHF後援、公認、リーグ、日本選手権、世界選手権、FAIカテゴリー1、2、クラス1、クラス5、他
4	エアールールについての説明	原則、同一機種の場合、異機種の場合、ルールとマナー、他
5	失速の定義と起こりうる状況、回復方法	定義、失速時の挙動、回復動作、失速の予知、他
6	上昇気流の発生とメカニズム、フライトにおける影響	リッジ・サーマルの原理、日射、地形、風、大気安定度、乱流と潰れ、他
7	局地風の種類とその説明	海風・陸風、山風・谷風、日射と夜間の冷却、陸地と海、サーマルブローと吹き下ろし、他
8	気温減率の説明とフライトに及ぼす影響	乾燥/湿潤断熱減率、エマグラム、1°C、0.6°C、安定と不安定、逆転層、積雲、積乱雲、他
9	レスキューパラシュートの使用時の説明とメンテナンスについて	装着とセッティング、プレフライトチェック(ピン抜け確認)、シミュレーション、投げる方向、リパック、他
10	運用限界プラカードに書かれている主な項目とその説明	機種名、サイズ、最小/最大搭載重量、最低速度、超過禁止速度(VNE)、許容バンク角、許容ピッチ角。運用限界を超える飛行をするとどうなる可能性があるか。

	講習実技 B群	採点のポイント
1	初高高度フライトの講習生に対する事前説明	プレフライトチェック、機材の確認、無線機、パラシュート、エアールール、コース取り、LDアプローチ方法、他
2	ホールドが安定しない人へのアドバイス	アップライトに肩を当てる位置、視線、立ち上がる速さ、肘と手の使い方、風の強さに応じたホールドの仕方、他
3	強い上昇気流から回避する方法と注意点	雲との位置関係、風向風速、緊急高度処理をする状況、種類と注意事項、他
4	強風時、テイクオフからランディングまで、気を付けること	ホールドから走りだし、サポートの仕方、偏流修正飛行、弱風時とのランディングアプローチ・フレアーの違い、他
5	プレフライトチェックを教える際の注意点	講習生の習熟度に合わせた点検項目(最初から全てのボルトナットといっても理解できない)、特に重要な部分、見逃しがちな部分、他
6	バテンチャートを使った機体のメンテナンスと調整について	バテンチャートの使い方、左右対称、許容範囲、とられの調整、他
7	テイクオフで迎え角が安定しない人へのアドバイス	ホールドしている時点での迎え角、動き始め1歩目の速さ、視線、正しい前傾姿勢、肩から肘への移行、加重と手の返し、他
8	フレアーが上手くかからない人へのアドバイス	ランディングアプローチ、特にファイナルアプローチの重要性、スタンディングフォーム、ハーネスの調整、地面効果、対気速度、風の強さに応じたかけ方、体格による押し出し量の違い、体格によるタイミングの違い、他
9	機体の安定性にかかわるパーツの機能と調整箇所について	ウォッシュアウトリミッター、ラフライン、ダイブスティック(スプログ)、ノーズコーン、アンダーバテン、ねじり下げなどの機能、他
10	自分の経験上、講習生の起こしがちな失敗例とその対処法について	講習生が実際に起こした失敗の経験談。知識の正確さ、講習生への説明内容と方法、他